

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 1 月 21 日 (2016.1.21)

【公表番号】特表 2015-505212 (P2015-505212A)

【公表日】平成 27 年 2 月 16 日 (2015.2.16)

【年通号数】公開・登録公報 2015-010

【出願番号】特願 2014-548987 (P2014-548987)

【国際特許分類】

H 0 4 Q 9/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/048 (2013.01)

H 0 4 N 5/00 (2011.01)

【F I】

H 0 4 Q 9/00 3 3 1 A

H 0 4 Q 9/00 3 0 1 E

G 0 6 F 3/048 6 5 6 A

H 0 4 N 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 11 月 24 日 (2015.11.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

リモートコントロール上にユーザインターフェースを表示する方法であって、前記方法は、

前記リモートコントロールの電子ディスプレイ上に第 1 のリモートコントロールユーザインターフェースを表示することと、前記第 1 のリモートコントロールユーザインターフェースは、多機能デバイスの第 1 の機能モードに固有の特徴を制御するように動作可能であり、

前記多機能デバイスに第 1 のコマンドを送ることと、前記第 1 のコマンドにより、前記デバイスが前記第 1 の機能モードを出て、第 2 の機能モードに入ることになり、

前記多機能デバイスから第 2 のコマンドを受信することと、前記第 2 のコマンドは、表示されるべき第 2 のリモートコントロールユーザインターフェースを識別し、前記第 2 のリモートコントロールユーザインターフェースは、前記第 2 の機能モードに固有の前記多機能デバイスの特徴を制御するように動作可能であり、

前記リモートコントロールの前記電子ディスプレイ上に前記第 2 のリモートコントロールユーザインターフェースを表示することと、

を備え、

前記多機能デバイスは、マルチメディアサーバを備え、前記機能モードは、ストリーミング機能モードと、ウェブブラウジング機能モードと、写真閲覧機能モードと、ゲーミング機能モードと、を備え、前記第 1 の機能モードと前記第 2 の機能モードとは、異なるコントロールを必要とする異なる機能を与える、方法。

【請求項 2】

前記第 2 のリモートコントロールユーザインターフェースからの入力に応答して、前記多機能デバイスに第 3 のコマンドを送ることをさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 2 のリモートコントロールユーザインターフェースの前記表示を可能にするデータは、前記第 2 のリモートコントロールユーザインターフェースを識別する前記第 2 のコマンドが前記リモートコントロールによって受信される前に前記リモートコントロールのメモリに記憶される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記入力がタッチジェスチャーである、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 2 のリモートコントロールユーザインターフェースが仮想キーボードを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 2 のリモートコントロールユーザインターフェースがジェスチャー入力を可能にする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

リモートコントロール装置であって、

第 1 のリモートコントロールユーザインターフェースを表示するための電子ディスプレイと、前記第 1 のリモートコントロールユーザインターフェースは、多機能デバイスの第 1 の機能モードに固有の特徴を制御するように動作可能であり、

前記第 1 の機能モードにおける前記多機能デバイスに第 1 のコマンドを送るように構成されたデバイスコマンド送信モジュールと、前記第 1 のコマンドにより、前記多機能デバイスが第 2 の機能モードに入ることになり、

前記多機能デバイスから第 2 のコマンドを受信するように構成されたりリモートコマンド受信モジュールであって、前記第 2 のコマンドは、前記リモートコントロール装置上に表示されるべき第 2 のリモートコントロールユーザインターフェースを識別し、前記第 2 のリモートコントロールユーザインターフェースは、前記第 1 の機能モードに固有の前記デバイスの特徴を制御するように動作可能であり、

前記電子ディスプレイ上に前記第 2 のリモートコントロールユーザインターフェースを表示するように構成されたディスプレイモジュールと、

を備え、

前記第 1 の機能モードと前記第 2 の機能モードとは、異なるコントロールを必要とする異なる機能を与え、前記機能モードは、ストリーミング機能モードと、ウェブブラウジング機能モードと、写真閲覧機能モードと、ゲーミング機能モードと、を備える、リモートコントロール装置。

【請求項 8】

前記コマンド送信モジュールは、無線送信機、Bluetooth (登録商標) 互換送信機、または赤外線互換送信機を使用することによって前記第 1 のコマンドを送るように構成された、請求項 7 に記載のリモートコントロール装置。

【請求項 9】

前記リモートコントロール装置は、ディスプレイスクリーン上に表示され得る複数のユーザインターフェースを記憶するように構成された、請求項 7 に記載のリモートコントロール装置。

【請求項 10】

前記電子ディスプレイはタッチスクリーンディスプレイである、請求項 7 に記載のリモートコントロール装置。

【請求項 11】

前記装置はワイヤレス電話である、請求項 10 に記載のリモートコントロール装置。

【請求項 12】

前記第 2 のコマンドは、前記リモートコントロール装置のメモリに記憶された識別子を指定することによって前記第 2 のリモートコントロールユーザインターフェースを識別する、請求項 10 に記載のリモートコントロール装置。

【請求項 13】

リモートコントロール上でユーザインターフェースを制御する多機能デバイスにおける方法であって、前記方法は、

前記デバイスの第１の機能モードに固有の特徴を制御するように動作可能な第１のリモートコントロールユーザインターフェースを表示している前記リモートコントロールから第１のデバイスコマンドを受信することと、前記第１のデバイスコマンドにより、前記デバイスが前記第１の機能モードを出て、第２の機能モードに入ることになり、

前記リモートコントロールに第１のリモートコントロールコマンドを送ることと、前記第１のリモートコントロールコマンドは、前記リモートコントロール上に表示されるべき第２のリモートコントロールユーザインターフェースを識別し、前記第２のリモートコントロールユーザインターフェースは、前記第２の機能モードに固有の前記デバイスの特徴を制御するように動作可能である、

を備え、

前記多機能デバイスは、マルチメディアサーバを備え、前記機能モードは、ストリーミング機能モードと、ウェブブラウジング機能モードと、写真閲覧機能モードと、ゲーミング機能モードと、を備え、前記第１の機能モードと前記第２の機能モードとは、異なるコントロールを必要とする異なる機能を与える、方法。

【請求項１４】

多機能デバイスであって、

ストリーミング機能モードと、ウェブブラウジング機能モードと、写真閲覧機能モードと、ゲーミング機能モードとを備える複数の機能モードにおいて動作可能なマルチメディアサーバと、

前記デバイスの第１の機能モードに固有の特徴を制御するように動作可能な第１のリモートコントロールユーザインターフェースを表示しているリモートコントロールから第１のデバイスコマンドを受信するように構成されたデバイスコマンド受信モジュールと、前記第１のデバイスコマンドにより、前記デバイスが前記第１の機能モードを出て、第２の機能モードに入ることになり、

前記リモートコントロールに第１のリモートコントロールコマンドを送るように構成されたリモートコマンド送信モジュールと、前記第１のリモートコントロールコマンドは、前記リモートコントロール上に表示されるべき第２のリモートコントロールユーザインターフェースを識別し、前記第２のリモートコントロールユーザインターフェースは、前記第２の機能モードに固有の前記デバイスの特徴を制御するように動作可能である、

を備え、

前記第１の機能モードと前記第２の機能モードとが、異なるコントロールを必要とする異なる機能を与える、多機能デバイス。

【請求項１５】

請求項１乃至６および１３のうちのいずれか１つのステップを備える方法を処理回路に実行させる命令を記憶した非一時的コンピュータ可読記憶媒体。